



なぞって練習 [行書体]

源氏はその寺を出て少
しの散歩を試みた。
その辺をながめると、
ここは高い所であつた
から、そこそこに構え
られた多くの僧坊が見
渡されるのである。
螺旋状になつた路のついで
たこの峰のすぐ下に、
それもほかの僧坊と
同じ小柴垣ではあるが、
目だつてきれいに廻ら
されていいて、よい座敷
風の建物と廊とが優美
に組み立てられ、庭の
作りようなどもきわめ
て凝つた一構えがあつた。

■参考

※螺旋【らせん】

※路【みち】

※小柴垣【こしばがき】

※廻りむね【めぐりむね】

※凝つた【こつた】

(青空文庫のフリガナより)